



ユーザを管理します

SaaS Backup for Microsoft 365

NetApp
June 20, 2025

目次

ユーザを管理します	1
ライセンス	1
ライセンスを追加します	1
サブスクリプション情報を更新します	1
ユーザー ライセンスをリリースします	1
ルール	2
新しいルールを作成します	2
既存のルールを適用する	3
ルールを削除します	4
セキュリティ グループ	4
セキュリティ グループを追加します	4
セキュリティ グループを削除する	5

ユーザを管理します

ライセンス

ライセンスを追加します

有料サブスクリプションのライセンスを受け取ったばかりの場合は、以下の手順に従ってください [有料サブスクリプションを開始するためのワークフロー](#)。ワークフローの一環としてライセンスキーを入力します。

SaaS Backup をすでに使用している場合は、次の手順に従ってライセンスを追加できます。

教育分野では、教職員用のライセンスと学生用の個別のライセンスを使用できます。

手順

1. をクリックします  左側のナビゲーションペインから、
2. をクリックします  をクリックします。
3. ライセンス情報を入力します。
4. [* サブスクリプションの検証 *] をクリックします。
5. 「* 次へ *」をクリックします。
6. [保存 (Save)] をクリックします。

サブスクリプション情報を更新します

アドオンライセンスまたはサブスクリプション延長を購入した後は、SaaS Backup でサブスクリプションの詳細を更新できます。



保護されているか保護されていないかに関係なく、通常のユーザメールボックスがライセンスを消費します。共有メールボックスはライセンスを消費しません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで [*Services] をクリックします。
2. をクリックします  をクリックします。
3. [サブスクリプションの詳細] の横にある [Update] をクリックします。
4. 初回のサインアップ時に使用したのと同じユーザ名とパスワードを入力します。
5. [Submit (送信)] をクリックします。

ユーザーライセンスをリリースします

保護されているか保護されていないかに関係なく、通常のメールボックスユーザまたは

アーカイブメールボックスユーザがライセンスを使用します。特定のユーザに不要になったライセンスは、再割り当てできるようにリリースできます。ユーザライセンスを解放すると、ユーザは保護されていない階層に移動され、そのユーザのバックアップは中止されます。



共有メールボックスはライセンスを消費しません。

手順

1. をクリックします をクリックします。
2. 「* アカウント設定 *」を選択します。
3. [* retain and purge] をクリックします。
4. リリースライセンス * で、リリースするライセンスを持つユーザーのアカウント名を入力します。
5. アカウントが見つかったら、自動入力されたリストからそのアカウントを選択し、をクリックします .
6. 必要に応じて、アカウントを追加します。
7. [Release (リリース)] をクリックします。
8. [はい、ライセンスをリリースしてください *] をクリックします。
9. [* 確認 *] をクリックします。

ルール

新しいルールを作成します

ルールを使用すると、事前に選択した条件に基づいてユーザを自動的にバックアップ階層に移動できます。

Microsoft Exchange Online 、 OneDrive for Business 、 SharePoint Online 、 Microsoft Office 365 グループのルールを作成できます。

ルールを作成する前に、データにユーザ定義フィルタを適用する必要があります。適用されたフィルタは、* フィルタ * アイコンの下に表示されます。NetApp SaaS Backup for Microsoft 365 のデフォルトフィルタはグレーで表示されます。ユーザー定義のフィルタが薄い青で表示されます。

す。

ユーザ定義のフィルタを作成します

複数のルールを作成できます。ルールは、* ルールの管理 * リストに表示される順序で適用されます。

手順

1. ダッシュボードで、ルールを作成するサービスのボックスで、上の * 非保護 * の番号をクリックします。



ユーザが作成したフィルタが適用されていない場合は、**Create Rule** 表示されません。

- [* フィルタ * (Filter *)] をクリック



- [* Select *] ドロップダウン・メニューをクリックして、フィルタを選択します。検索フィールドが表示されます。
- 検索条件を入力します。
- [フィルタを適用 (Apply Filter)] をクリックする。
- [* ルールの作成 *] をクリックします。
- ルールの名前を入力します。
- [* 宛先グループ *] で、ルールの条件を満たすユーザーを移動する階層を選択します。
- 保護されていないすべての項目にルールをすぐに適用する場合は、「* 既存の項目に適用する *」を選択します。選択しなかった場合は、次に新しい項目が検出されたときに、新しく検出された項目と保護されていない項目にルールが適用されます。

10.



ルールが複数ある場合は、をクリックします ルールをリスト内で上下に移動します。ルールは、リストに表示される順序で適用されます。

既存のルールを適用する

ルールを使用すると、事前に選択した条件に基づいてユーザを自動的にバックアップ階層に移動できます。

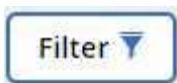
保護されていない項目に既存のルールを適用したり、ルールが適用される順序を変更したり、ルールを削除したりできます。

手順

- ダッシュボードで、ルールを作成するサービスのボックスで、上の * 非保護 * の番号をクリックします。



- [* フィルタ * (Filter *)] をクリック



3. * ルール * をクリックします。既存のルールが表示されます。
4. [今すぐ適用] をクリックして、既存の非保護項目にルールを適用します。

ルールを削除します

既存のルールが不要になった場合は削除できます。また、ルールで使用されているセキュリティグループを削除する必要がある場合は、事前にセキュリティグループを削除しておく必要があります。

手順

1. ダッシュボードで、ルールを作成するサービスのボックスで、上の * 非保護 * の番号をクリックします。



2. [* フィルタ* (Filter*)] をクリック



3. * ルール * をクリックします。既存のルールが表示されます。
4. をクリックします。ルールを削除します。ルールが以前適用されていた項目のステータスは、ルールを削除しても変更されません。

セキュリティグループ

セキュリティグループを追加します

セキュリティグループをフィルタリングオプションとして使用して、データを表示したりルールを作成したりできます。

セキュリティグループは 3 つまで追加できます。その後、SaaS Backup のフィルタリングオプションとしてセキュリティグループを使用できます。

新しいセキュリティグループを追加する前に、AutoSync または手動同期によって新しいセキュリティグループを検出する必要があります。<https://docs.microsoft.com/en-us/office365/admin/email/create-edit-or-delete-a-security-group?view=o365-worldwide>["管理センターでセキュリティグループを作成、編集、または削除します"]。

手順

1. 「* アカウント設定 *」をクリックします。

2. セキュリティグループ * をクリックします。
3. 検索フィールドに、追加するセキュリティグループの名前を入力します。
4. [追加 (Add)] をクリックします。

セキュリティグループを削除する

ユーザ定義ルールでセキュリティグループを使用している場合は、そのセキュリティグループを削除できません。ユーザ定義ルールを削除してから、セキュリティグループを削除する必要があります。[ルールを削除する](#)

手順

1. 「* アカウント設定 *」をクリックします。
2. セキュリティグループ * をクリックします。
3. 削除するグループの横にある削除アイコンをクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。